



[The link bar
feature is not
available in this
web]

インターフェイス

もしEchoLinkを「シス・オペ」モードにてセットアップする事を考えているのであれば、無線機とパソコンを繋ぐ某かの専従インターフェイスが必要となります。そのインターフェイス・デバイスはパソコンにて無線機のPTT機能をコントロールさせるもので、且つ(オプションで)DTMFコマンドを受信側から読み込むものです。

可能な限りのフレキシビリティを持たせる為、EchoLinkは数種類の異なるインターフェイスで動作するようにデザインされています。以下はEchoLink利用にて特にお勧め出来るハイ・クオリティなインターフェイスの一部リストです。

■ [WB2REM & G4CDY'S Linking Interfaces](#)

これらのインターフェイスは完成品若しくはキットにて入手可能です。オリジナルの回路はQST誌2002年3月号に紹介されています。新しい"ULI"モデルと"AMI"モデルには追加機能が含まれています。

■ [VA3TO Enhanced Link Controller](#)

このインターフェイスも同様に完成品若しくはキットにて入手可能で、またPSK31 等の他のデジタル・モードのソフトでも使用する事も可能です。

■ [RIGblaster from West Mountain Radio](#)

これらデジタル・モードへの一般利用インターフェイスもいくらか有りますが、全てEchoLinkで利用できます。RIGblaster使用時にはEchoLinkのDTMFデコーター機能を利用して「シス・オペ」モードでVOX機能をセットして下さい。(リンクしているゲートウェイ無線機のマイクを通じてのみアマチュア局と通話できる事になります。)

■ [G3VFP iLINK / EchoLink Interface Controller](#)

iLINK/EchoLink専用にデザインされた完全にアイソレーションの取れるインターフェイス完成品でケース入りです。PSK31 等の他のデジタル・モードのソフトウェアで利用できる場合も有ります。

他のインターフェイス

他のEchoLink用のインターフェイスとしては以下のものもあります。

[PY2JF Interface \(from Brazil\)](#)